

# 普及だより



平成24年5月より毎月第2日曜日、JR海南駅前西側広場において軽トラックの荷台を使って販売を行う「海南市軽トラ市」を開催しています。市内の農家や事業者が参加し、荷台には旬の野菜や果物や花、焼菓子や海産物などさまざまな品目が溢れ、多くの来場者が生産者と直接会話を交えながら買い物を楽しんでいます。軽トラ市は地元農業や特産物のPRの場となり、地産地消を通じて地元の良さを再認識できるイベントとなっています。皆様奮ってご参加下さい。

## 鳥獣被害の軽減は地域ぐるみで

病害虫が発生し農作物に被害が出た場合、農家の皆様は、何が原因かを突き止め農薬等で防除すると思います。しかし、鳥獣被害の場合は、自分で対処できないからとあきらめていませんか？

和歌山県の加害鳥獣は、イノシシ、シカ、サルが3大鳥獣となっています。和歌山地方ではイノシシ被害がほとんどで、シカは山間の一部、サルについては幸いにも被害が確認されていません。

一般的に鳥獣害対策は、鳥獣の生息密度を下げる「捕獲」、柵やトンによる「防護」、農地周辺の刈り払いや餌場を撤去する「環境整備」が重要とされています。シカやサルは、繁殖力が低く1年から2年に一度、1頭を出産するため、「捕獲」を推し進めることが被害の軽減に有効です。しかし、イノシシは毎年4～5頭出産するため、一定数以上増えると「捕獲」だけでは、被害の軽減が困難となります。

イノシシの被害軽減を図るためには、「捕獲」に加え、「防護」や「環境整備」がシカやサル以上に重要となります。この「防護」や「環境整備」は、個々の農家で対応するよりも、地域全体で取り組むことがポイントとなります。管内では海南市下津町大崎地区で一昨年からは集落ぐるみで先進的な取組を実施しております。

農業振興課におきましても、鳥獣害対策を地域の重要な課題として様々な取組を進めております。鳥獣被害でお困りの地域の皆様、一度地域ぐるみで鳥獣被害の軽減に取り組んでみませんか。

海草振興局農業振興課長

## ご当地おにぎりコンテスト開催

～H24年度振興局コンペ事業「海南軽トラ市」特別企画～

平成24年10月14日（日）海南保健福祉センターにて「ご当地おにぎりコンテスト」が開催されました。このイベントは海南市が取り組んでいる「軽トラ市で賑わうまちづくり」事業の一環として、和歌山ならではの食材を具材に使ったおにぎりレシピを募集することで、和歌山産の農林水産物に関心を持ってもらい、優秀作品を観光等の地域資源として活用することを目的として実施されました。

公募の結果、72作品の応募があり、1次審査で8作品が通過し、10月14日に最終審査が行われ、「和歌山の幸(さち)まぜまぜおにぎり」を作った海南市の西中禮子さんが最優秀賞となりました。

今回、受賞した最優秀賞、優秀賞2点の合計3点については、11月5日開催の海南軽トラ市にて販売されました。



## 小学校で郷土食体験を実施

郷土食体験は、次代を担う子供達が実習体験を通じて食文化と農業について理解を深めることを目的に管内の小学校で梅干加工体験と郷土料理の実習を実施しました。

梅干は、梅を塩で桶に漬け込みました。郷土料理では、農業振興課より「郷土食についてのお話」と農業協同組合の営農指導員より「地域の野菜と果物のお話」を行ったあと、食育ボランティアが講師となって、子供達と実習を行いました。子供達は、慣れない手つきで調理をし、地元の食材をたくさん使った郷土食を作りました。自分達で作った料理に満足し、おかわりをする子や、「家でも作ってみる」という声も聞かれました。



## 児童による農業体験

子ども達に地域農業や地産地消、環境保全への理解を深めてもらうため、農業体験学習会を行いました。小学生100名が「田植え」と「稲刈り」を行い、農業や食べ物の大切さを感じる良い機会となりました。



## 農業士会女性部会の活動

和海地方農業士会では女性の農業士だけを対象とした活動を実施しています。今年は(株)ニッカリを訪れ、農業機械の仕組みと正しい使い方について学習しました。



## 生活研究グループの活動

和海地方生活研究グループでは、次代に伝えていくために、和海地方の農産物と季節の料理、食文化と伝統の行事や食習慣等を調査しました。調査を元に、会員が郷土食料理を指導出来るように実習の手順などの研修会を開催しました。



## 4Hクラブの活動

4Hクラブでは様々な研修を行っています。長野県で1ターンから6次産業化に取り組んでいる「はずみふあーむ」で研修を行いました。その後、光変換ピンク農法の現地視察を行い、栽培実績の説明を受けました。



## 丹生系温州の生産安定におむけて

丹生系温州等高糖度系温州は、着果安定が普及の課題となっています。対策の一つとして摘葉処理により新梢発生を促し、翌年の結果母枝を確保する技術の展示ほを設置しました。結果は春枝、夏秋梢を合わせて摘葉 22.3節に対して有葉果を含めて 19.3本の新梢発生が見られました。有葉果は緑化前までに摘果しました。今後は25年産の着花状況を確認する予定です。



## 早生系平核無は日焼けにご注意を！

紀美野町のカキ園において、カキ主力品種の「刀根早生」と「富有」で日焼け程度別に収穫期における状況を調査しました。

その結果、刀根早生では8月に日焼けの程度が強いと、収穫時になっても日焼け部分が目立ちました(写真)。一方、富有は日焼けが発生しても収穫時には見分けが付きませんでした。

このことから、早生系の平核無(中谷早生、刀根早生など)は日焼けに注意が必要です。



刀根早生日焼け発生期  
(8月24日)



刀根早生収穫期  
(9月19日)

## 臭化メチルの代替技術について

和歌山市内のショウガ産地では、根茎腐敗病が重要病害となっており、その防除薬剤として長らく臭化メチル剤が使用されてきましたが、平成24年12月末をもって使用ができなくなりました。そのため、県では国の事業を活用して農業試験場、海草振興局農業振興課、JAわかやまが連携して、臭化メチル代替技術対策として試験を実施し、その結果を「脱臭化メチル栽培マニュアル」として取りまとめました。

中央農業総合研究センターのHPからダウンロード可能です。

(HPアドレス [http://www.naro.affrc.go.jp/narc/contents/post\\_methylbromide/index.html](http://www.naro.affrc.go.jp/narc/contents/post_methylbromide/index.html))



## 狩猟について

近年、農作物に甚大な被害を与えているイノシシやシカ等の捕獲を目的に、新たに狩猟免許の取得を希望される農業者が増加しています。

狩猟の概要については下記のとおりですが、ご不明な点等ありましたらお気軽に農業振興課へお問い合わせ下さい。

## 狩猟とは

法定猟法により狩猟鳥獣を狩猟期間内に捕獲することをいいます。狩猟を行うためには、使用したい猟具の狩猟免許を取得し、県に狩猟登録することが必要です。本県では、毎年7月～8月頃に狩猟免許試験が行われています。

☆狩猟免許の種類

- 網猟免許：網(むそう網、はり網等) ○わな猟免許：わな(くくりわな、はこわな、囲いわな等)
- 第1種銃猟免許：銃器(装薬銃(ライフル銃・散弾銃)、空気銃) ○第2種銃猟免許：空気銃

## コゴミ栽培への取組

コゴミはアクが無く、調理が簡単で広く食される山菜です。繁殖力が強く、病気になりにくいことから、栽培労力とコストが少ない休耕田作物として導入を進めていきます。



## 光変換光合成促進農法

4Hクラブ員のプロジェクト活動の取組として、ピンクネットを使ったピンク農法に取り組んでいます。デコポン被覆に使用し、品質向上の調査を行っています。



# 受賞おめでとうございます

## 和歌山県農林水産業賞

### 農業部門

平成24年度は次の方が受賞されました。

瀬藤典男さん（和歌山市）



下津町農業研究会青年同志会（海南市）



この賞は、農林水産業の振興発展並びに農山漁村の活性化に貢献し、業績が特に優れ、ほかの模範となるべき個人及び団体の功績を表すものです。

## ウメ輪紋ウイルス（PPV）にご注意下さい！！

ウメ輪紋ウイルス（プラムボックスウイルス）は、ウメ、モモ、スモモなどに感染し、果実が成熟前に落果するなどの被害を与えます。盆栽や庭木など観賞用のウメやモモにも感染します。このウイルス病の発生・まん延を防止するためには、感染した植物を早期に発見する必要があります。

このウイルスに感染したウメやモモでは、葉に緑色の薄い部分ができる症状（退緑班紋）やドーナツ状の輪ができる症状（輪紋）などがみられます。

このような症状がありましたら早急にご連絡ください。

【問い合わせ先】

和歌山県農林水産部 農業環境・鳥獣害対策室  
 和歌山県農作物病害虫防除所 紀の川駐在（かき・もも研究所内）  
 和歌山県農作物病害虫防除所 みなべ駐在（うめ研究所内）



TEL 073-441-2905  
 TEL 0736-73-2274  
 TEL 0739-74-3780

## お知らせ

農業振興課ではホームページでも農業に関する情報を提供しています。ぜひご覧になって下さい。

URL: <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/130100/chiiki/nogyoshinko/nogyoshinko.html>

### 海草振興局地域振興部農業振興課

**資料の提供**  
 和歌山県農業振興課の資料を無料でご提供。  
**お問い合わせ先**  
 和歌山県農業振興課 農業環境・鳥獣害対策室  
 〒640-8501 和歌山県和歌山市大和町1-1-1  
 TEL 073-441-2905  
**お問い合わせ先**  
 和歌山県農業振興課 農業環境・鳥獣害対策室  
 〒640-8501 和歌山県和歌山市大和町1-1-1  
 TEL 073-441-2905

## 編集後記

昨年はオリンピックでの金メダル獲得やスカイツリーの開業、山中教授のノーベル賞受賞など明るい話題が多い年でした。農業でも金メダルを獲得するような明るい話題を提供していきたいものです。

2015 紀の国 わがやま国体

第70回国民体育大会 躍動と歓喜、そして絆



2015 紀の国 わがやま大会

第15回全国障害者スポーツ大会 躍動と歓喜、そして絆

re70

PRINTED WITH SOY INK

古紙配合率70%再生紙と、環境に配慮した大豆インキを使用しています。